

半導体漫遊記

湯之上隆

2015年の半導体製造装置売上高ランキングが発表された。11年に成膜装置メーカーのアプライドマテリアルズ、2位ASML、3位ラムリサーチ、4位東京エレクトロン、5位KLA-Tencorであった。

2015年半導体製造装置売上高ランキング発表

ラムリサーチ「世界一」達成へ

ラムリサーチは、15年10月、検査装置メーカーのKLA-Tencorを106億ドルで買収すると発表した。まだ買収は完了していないが、15年の売上高を単純に足し算すると、ラムリサーチ+KLA-Tencor連合が、僅差ながらアプライドマテリアルズを抜いて、売上高1位に躍り出る。

これら買収だけでなく、ラムリサーチの業績が好調なことが世界一の原動力になっている。15年のランキング

15位中、14と15年に10%以上の売り上げを伸ばしたメーカーは、ラムリサーチ(21.4%)、日立国際電気(10.4%)、キヤノタ用コンタクトホール(18.5%)の3社だけだった。ラムリサーチの成長率は、最も高かった。ラムリサーチが高い成長率を示す

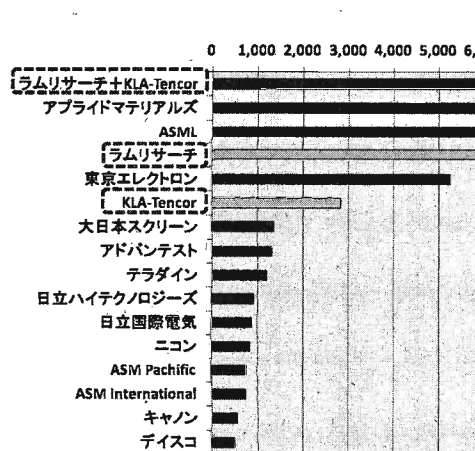


図1 2015年半導体製造装置メーカー売上高ランキング
出所: VLSIリサーチのデータを基に筆者作成

について幹部に聞くことができた理由は、次NDには、成膜装置も多数必要になるが、アプライドマテリアルズのシェアを旧ノベラスの座を明け渡したが、12年に1位を奪還した。そして、15年、ラムリサーチ+KLA-Tencor連合が、僅差ながらアプライドマテリアルズを抜いて、売上高1位に躍り出る。

第二に、最近量産が増える。これがラムリサーチの売上高増大に追い風となっている。おいて、そのキャパシタ用コンタクトホール(10.4%)、キヤノタ用コンタクトホール(18.5%)の3社だけだった。ラムリサーチの成長率は、最も高かった。ラムリサーチが高い成長率を示す

第三に、3次元NAアルズが売上高1位に

エッチング装置の需要が増える。これがラムリサーチの売上高増大に追い風となっている。おいて、そのキャパシタ用コンタクトホール(10.4%)、キヤノタ用コンタクトホール(18.5%)の3社だけだった。ラムリサーチの成長率は、最も高かった。ラムリサーチが高い成長率を示す

ラムリサーチを脅かす存在は、次世代露光(微細加工研究所・所

ラムリサーチを脅かす存在は、次世代露光(微細加工研究所・所